

人と人とのつながりがきらりと光る塩田

7/6の西日本豪雨を考える

今回の豪雨については、その対応についてさまざまな意見と批判がありました。例えば、首相が「酒盛をしていた」とか？。

当地区においては、「避難場所」の疑問が出ています。指定されている「避難場所」が最良であるか。その経路はどうであるのか等。そして、地区内の高齢者、介護を要する方、1人住まいなどの人をどのような方法で避難させるのか。日頃常々そのことについては、文字で見、訓練などで体験し、理屈としては理解している筈ですが、いざ災害発生の危険が目前の時、人として十分に理解できるように行動できるか。あなたは如何ですか？ それこそ、地区内での連携が必要です。

【今回の懸念事項を踏まえて確認します】

避難準備情報

避難勧告や避難指示を行うことが予想される場合に発令。

高齢者ら避難に時間がかかる人に早めの避難を促す。

避難勧告

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に発令。対象住民に避難を勧めるが強制するものではない。

避難指示

状況が更に悪化し、災害による人的被害の危険性が非常に高まった場合や人的被害が発生した場合に発令。避難勧告より強制力は強い。

●今回、はじめて佐賀県に「特別警報」が発令されました。

今まで見たことが無い黒に近い濁った泥水が滝のように家の周りに流れた・・・とか、水が増えるのが早かったなどの感想があられるでしょうが、災害発生の危険がある場合に関係者以外は絶対にしてはならない「川を見に行く」「水路を見に行く」をされた方もあったようです。気象庁、行政は周辺事情を考慮し地域の方に防災情報を発信しますので、それを良く聞いて「状況判断」をして下さい。「避難指示」とは、その時は既に全てが避難完了であるとされています。避難しなくても罰則はありませんが、もし・・・もし被害に遭われた場合は、多人に多大な迷惑をかけることとなります。早く逃げる。大丈夫だろうと自己判断をしない。これが、自身を守る鉄則です。

「こんなに、ひどいとは思わなかった」「ここまで来るとは思わなかった」が無いように!!

コミュニティスクールだより

塩田小学校とは「地域連携教育活動」を行っていますが、その中で、6年生のナップザックづくりのミシンサポーターとして7名の方に協力していただきました。9月は5年生のエプロンづくりが待っています。ミシン得意な方は是非ご指導下さるようお願い致します。



耕作放棄地・自己保全荒廃田への今年産「ソバ」の栽培始まる

耕作放棄地・荒廃田畑を少しでも減らし、雑草繁茂などの地域の環境保全の手助けになれば……と思い、平成27年度より取り組んでいます「耕作放棄地有効活用・さが未来スイッチ交付金事業」での「ソバ」栽培が始まりました。今は土壌づくりの段階です。種まきは8月下旬になります。作業は、40名の「ソバ部会員」で行っていますが、まだ人手不足です。場所は、塩吹に約5反7畝、みの熊野に約5畝、辺田に約6畝、谷に約6反8畝の合計で約1町3反6畝での作付けを計画しています。草刈りなどの手入れが行き届かない農地が殖えています。そのことが、イノシシなどの有害鳥獣を増やす要因にもなっています。“ご先祖様から守り続けている大事な農地” これも、自分で守りましょう。自分の財産ですよー。



◎お知らせコーナー

8月の行事 16日 塩田夏まつり
 17日 環境整備部会での 清掃活動

※ 夏休み期間中、『ラジオ体操』に参加されましたか？

小学校だよりは「そとくどい啐啄同時」・自ら伸びようとするこどもをサポートする
「学校で学び、家庭でしつけ（これが一番大事!!）、地域で育てる」実践しよう～